

- 平成22年から**エキナセア栽培**を開始。**面積ゼロから170㍍へ増加**
- 大山山麓産エキナセアを用いた**抗インフルエンザ試験**、**抗花粉症試験**を実施し、**ウイルス増殖抑制効果**及び**花粉症症状軽減効果**を確認
- エキナセアを原料とした**ハーブティーの商品化及び販売開始**

具体的な成果

■大山山麓で栽培されたエキナセア



■エキナセアの栽培普及（平成25年：面積170㍍、23圃場、生産者15戸、収穫量20ト）



■地域産業資源としてエキナセアが認定

■エキナセアの機能性についての医学的・薬学的評価データを取得



■エキナセア製品の製造販売会社の設立

■エキナセアティーの開発・販売開始



■六次産業化法に基づく事業認定取得

普及員の活動

【平成21年】

- 新型インフルエンザの大流行**
→**抗インフルエンザ活性のあるハーブ**を検索し、栽培適性と市場性の観点からエキナセアに着目
- 茶業者にエキナセア栽培を提案**

【平成22年】

- 茶業者によるハーブティー開発を目的とする研究会の設立を支援**
- 大山山麓での**エキナセアの栽培実証及びハーブティー製造法の開発支援**（農商工連携研究開発支援事業）
- エキナセア生産者に対する**産・学・官連携支援体制**の構築

【平成23年】

- エキナセアの機能性エビデンス取得支援
→**抗インフルエンザ活性**、**抗花粉症活性**に関する鳥取大学への委託研究実施（農医連携モデル事業）
- 地域産業資源としてのエキナセアの認証取得支援及び六次産業化法に基づく総合化事業計画認定の取得支援**

【平成24年～】

- 農業者による法人設立支援**
- 商品改良及び販路開拓支援**

普及員だからできたこと

1. 農業者への技術指導機能及び関連機関とのコーディネート機能を生かし、産・学・金・官（商工会、鳥取大学、金融機関、県産業振興機構、大山町、鳥取県）の連携を図り、エキナセア生産者への6次産業化の総合支援を行うことができた。